

# 日経バイオテクノロジー(2010年3月8日)

<http://biotech.nikkeibp.co.jp/bionewsn/detail.jsp?newsid=SPC2010030771735>

2009 . 9 . — 2010 . 3 .

複数語での検索には、ログインが必

検索

2010-03-08 00:20:31

有料

「事業仕分け対策にブルーボックスを刊行」と、ノーベル化学賞記念シンポジウムで尾嶋正治・日本放射光学会会長/東大教授



日本学術会議は2010年3月6日、「ノーベル化学賞記念シンポジウム—大型放射光を使って生体分子を見る—」を東京

大学本郷キャンパス薬学講堂で開催した。「昨年秋の事業仕分けで、文部科学省が蓮舫議員らに仕分けられたので、このシンポジウムを企画した(関連記事1)。雨にもかかわらず175人に参加していただいた」と、開会のあいさつで、日本放射光学会会長を務める東京大学放射光連携研究機構機構長の尾嶋正治・東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻教授(写真)は話した(関連記事2)。

Copyright(c) Nikkei Business Publications, Inc.  
All Rights Reserved

▼  
続きを読む

この記念シンポジウムでは、リボソームの構造解析で09年ノーベル化学賞を受賞したイスラエルWeizmann Institute of ScienceのAda E.Yonath博士が「Ribosome revealed by high brilliance synchrotron radiation」というタイトルの特別講演を行った(関連記事3)。Yonath教授は1987年から約10年間、高エネルギー加速器研究機構フォトンファクトリー(KEK-PF)の放射光X線を使って、細胞中のたんぱく質合成工場といわれるリボソームについて、その構造と機能を解明した。

尾嶋教授は併せて、日本放射光学会が企画して、放射光がいかに世の中の役に立っているか、役立つかを解説したブルーボックスを、2011年初めに刊行する予定であることも紹介した。

「10章の構成を予定している。原稿は2010年3月締め切りで集まる。一般の方に分かりやすいように編集にも時間を要するようだ」と、尾嶋教授は取材に答えた。

「SPring8は運転経費が年90億円、あるいは86億円かかるのは事実。国民目線で分かりやすいようにするのは、貴重な税金を使っているのだから、当然のこと。日本からもこの分野でノーベル賞が生まれてくれれば」と、尾嶋教授は壇上で話した。

このシンポジウムは、日本放射光学会、日本結晶学会、日本蛋白質科学会、東大放射光連携研究機構、理研SPring-8センター、KEK-PFが共催した。(河田孝雄)